

第2期 西区自治協議会 成果と課題
(平成21年度～平成22年度)

西区自治協議会

1 委員編成

- (1)西区自治協議会委員名簿 P 1
- (2)部会の構成及び構成員名簿 P 2

2 成果と課題

- (1)全体に関する事 P 3
- (2)第1部会に関する事 P 4
- (3)第2部会に関する事 P 5
- (4)第3部会に関する事 P 5
- (5)プロジェクトチーム1に関する事 P 6
- (6)プロジェクトチーム2に関する事 P 7
- (7)プロジェクトチーム3に関する事 P 7

3 資料

- (1)意見聴取等結果一覧 P 8
- (2)要望書（抜粋） P 10

第2期 西区自治協議会 委員名簿

(順不同・敬称略)

氏名	所属	就任期間
岡本 松男	内野コミュニティ協議会	平成21年4月1日～平成23年3月31日
猪爪 衛	西内野コミュニティ協議会	平成21年4月1日～平成23年3月31日
小出 正榮	コミュニティ中野小屋	平成21年4月1日～平成23年3月31日
石黒 伸夫	コミュニティ佐潟	平成22年6月30日～平成23年3月31日
朝妻 稔	コミュニティ佐潟	平成21年4月1日～平成22年6月4日
梶原 宜教	坂井輪中学校区コミュニティ協議会	平成21年4月1日～平成23年3月31日
○ 飯塚 謙助	坂井輪小・小新中学校区まちづくり協議会	平成21年4月1日～平成23年3月31日
小柳 武	東青山小学校区コミュニティ協議会	平成21年4月1日～平成23年3月31日
寺山 和雄	五十嵐小学校区コミュニティ協議会	平成21年4月1日～平成23年3月31日
本間 信一	真砂小学校区コミュニティ協議会	平成21年4月1日～平成23年3月31日
村川 順三	青山小学校区コミュニティ協議会	平成21年4月1日～平成23年3月31日
波多 雄一	小針小学校区コミュニティ協議会	平成22年6月30日～平成23年3月31日
富沢 武司	小針小学校区コミュニティ協議会	平成21年4月1日～平成22年6月14日
江端 直樹	黒埼南ふれあい協議会	平成22年1月25日～平成23年3月31日
武田 利秋	黒埼南ふれあい協議会	平成21年4月1日～平成21年12月31日
谷井 輝雄	大野校区ふれあい協議会	平成21年4月1日～平成23年3月31日
鳴海 丈支	立仏校区ふれあい協議会	平成22年4月26日～平成23年3月31日
島田 正和	立仏校区ふれあい協議会	平成21年4月1日～平成22年3月31日
青木 留藏	山田校区ふれあい協議会	平成21年4月1日～平成23年3月31日
涌井 晴之	佐潟と歩む赤塚の会	平成21年4月1日～平成23年3月31日
横尾 文子	子育て応援施設「ドリームハウス」	平成21年4月1日～平成23年3月31日
上坂 ムツ子	西区民生委員児童委員会連絡会	平成21年4月1日～平成23年3月31日
今井 あかね	特定非営利活動法人ワーキング・ウイメンズ・アソシエーション	平成21年4月1日～平成23年3月31日
阿部 和昌	西区PTA連絡協議会	平成22年7月29日～平成23年3月31日
渡辺 久美	西区PTA連絡協議会	平成21年7月30日～平成22年3月31日
◎ 松原 幸夫	新潟大学社会連携研究センター 教授	平成21年4月1日～平成23年3月31日
山下 功	新潟国際情報大学情報文化学部情報システム学科 講師	平成21年4月1日～平成23年3月31日
細川 好円	元坂井輪地区公民館運営審議会 委員	平成21年4月1日～平成23年3月31日
上地 源光	公募委員	平成21年4月1日～平成23年3月31日
関 良策	公募委員	平成21年4月1日～平成23年3月31日
畑山 賢一	公募委員	平成21年4月1日～平成22年3月31日
皆川 ヒデ	公募委員	平成21年4月1日～平成23年3月31日
山本 安光	公募委員	平成21年4月1日～平成23年3月31日
阿部 浩美	新潟みらい農業協同組合	平成21年4月1日～平成23年3月31日
森田 薫夫	新潟大学 学生	平成21年4月1日～平成23年3月31日
昆 優利	新潟国際情報大学 学生	平成21年4月1日～平成22年9月30日
石田 長光	西区社会福祉協議会	平成21年7月30日～平成23年3月31日

◎・・・会長, ○・・・副会長

部会の構成及び構成員名簿

(部会長, 副部会長, 現委員, 前委員の順に掲載・敬称略)

<通常部会(部会)>

第1部会

担当分野：防犯, 防災, 自然環境, 住環境, その他西区自治協議会が定めるもの
所属委員：梶原 宜教(現部会長/前副部会長), 小柳 武(現副部会長), 石黒 伸夫,
飯塚 謙助, 寺山 和雄, 本間 信一, 谷井 輝雄, 鳴海 文支, 青木 留藏,
涌井 晴之, 松原 幸夫, 朝妻 稔(前部会長), 島田 正和

第2部会

担当分野：保健福祉, 文化, 教育, その他西区自治協議会が定めるもの
所属委員：関 良策(現部会長), 村川 順三(現副部会長), 横尾 文子(現副部会長),
波多 雄一, 上坂 ムツ子, 今井 あかね, 阿部 和昌, 細川 好円, 上地 源光,
皆川 ヒデ, 山本 安光, 森田 薫夫, 石田 長光, 富沢 武司, 渡辺 久美

第3部会

担当分野：農林水産業, 商工業, 交通, その他西区自治協議会が定めるもの
所属委員：小出 正榮(現部会長), 猪爪 衛(現副部会長), 岡本 松男, 江端 直樹,
山下 功, 阿部 浩美, 武田 利秋(前副部会長), 畑山 賢一, 昆 優利

<特別部会(プロジェクトチーム)> ※希望委員による開催のため1度でも参加があれば記載

プロジェクトチーム1

担当分野：飛砂対策・海岸松林の保全
所属委員：村川 順三(現部会長), 本間 信一(現副部会長), 石黒 伸夫, 細川 好円,
関 良策, 朝妻 稔

プロジェクトチーム2

担当分野：自治協議会での現地視察, 自治協議会の進め方, 委員出席率の向上, 区民意見の聴取とPRに関するもの
所属委員：寺山 和雄(現部会長), 波多 雄一, 涌井 晴之, 横尾 文子, 上坂 ムツ子,
今井 あかね, 松原 幸夫, 皆川 ヒデ, 上地 源光, 山本 安光, 森田 薫夫,
富沢 武司(前副部会長)

プロジェクトチーム3

担当分野：区役所整備及び区内施設の新設・用途変更に関するもの
所属委員：岡本 松男(現部会長), 谷井 輝雄(現副部会長), 梶原 宜教, 飯塚 謙助,
小柳 武, 寺山 和雄, 本間 信一, 波多 雄一, 江端 直樹, 青木 留藏,
今井 あかね, 松原 幸夫, 上地 源光, 山本 安光, 武田 利秋, 畑山 賢一

成果と課題

(1)全体に関すること

【成果】

- 新潟厚生年金スポーツセンター（ウエルサンピア新潟）について、施設の利用状況や周辺地域からの雇用状況、地域経済への貢献度などの観点から審議し、今後も営業継続できるよう市長に尽力を要望した。
- 西区役所庁舎の整備について、区民の考え方の傾向を把握するための区民アンケートを実施したほか、庁舎の現状と課題の分析など様々な観点から検討を加え、基本的な考え方として取りまとめ、市長に要望した。
- JR越後線「内野～吉田」駅間の列車増便について、西蒲区と連携しながら検討し、各コミュニティ協議会に署名活動呼びかけたほか、その結果をもって、市長からJR東日本に強く要請するよう要望した。
- 放課後児童クラブ（ひまわりクラブ）の整備充実のため、現状や課題を分析し、安心安全な子どもの居場所の確保、子どもの健全育成の観点から、施設の格差是正や環境の向上への努力を市長に要望した。
- 西区のまちづくりが進むよう、特色ある区づくり事業の委員アイデアなどを新規事業（もったいない推進事業、だれもが暮らしやすいまちづくり事業など）として審議するとともに、既存事業の廃止や見直しも含めて評価した。
- 西区自治協議会独自の企画として、西区一斉クリーンデー、すいかまつりでの野菜販売（味はよいが形が悪いなど）とアンケートなどを実施した。
- 区バスの取り扱いについて審議し、収支率改善の見込みが立たない黒埼ルートへの廃止はやむを得ないが、今後地域住民から要望があったときは、住民バスなどでの対応を検討するよう意見をとりまとめた。
- 西区・区ビジョンまちづくり計画 後期事業計画を区役所と共に策定したほか、その中から西区自治協議会としての重点事業を選定した。
- 西区自治協議会傍聴者からの意見提出制度を確立した。
- 委員が自ら調査等ができるよう、必要な委員に、西区自治協議会で身分証明書や名刺を用意する制度を確立した。

- 西区自治協議会の運営方法を検討し、次期協議会への提案という形で引き継げるよう取りまとめた。
- 区自治協議会会長会議を通じて、区自治協議会における費用弁償の支給範囲拡大を提言するとともに、海岸松林の保全など、これまで審議してきた課題のなかから西区だけでは解決し難い課題について提言し、会長会議で各区共通の課題を話し合う発端をつくった。

【課題】

- 西区自治協議会の活動が区民に十分知られていないため、PR手法を検討するとともに、解決に至っていない地域課題の検討を一層進める必要がある。
- 地域課題の検討にあたっては、現地視察や先進地域視察などにより現状把握に努める必要がある。
- 西区自治協議会のあり方を引き続き検討していく必要がある。
- 区ビジョンまちづくり計画後期事業計画の中から、西区自治協議会の重点事業として選定したものを検証していく必要がある。
- 次年度から自治協議会提案事業（自治協議会自身が企画して、区に事業提案する予算）制度がつくられることから、その用途を検討する必要がある。

(2)第1部会に関すること

【成果】

- 各コミュニティ協議会に主体となって実施してもらう西区一斉クリーンデーを平成22年度、平成23年度の企画として提案した。
- 委員発案から、西区の特色ある区づくり事業に、食べ残しを極力減らすなど「もったいない」の考え方を取り入れた事業（「もったいない推進事業」）を提案し、平成23年度から事業化されることとなった
- 各コミュニティ協議会の担当者による「防災・防犯に係る検討会」を設け、西区全体に関わる防災・防犯の課題を抽出してもらい、次期協議会で具体的に検討する課題として取りまとめることができた。

【課題】

- 引き続き、防災・防犯、自然環境保全、都市排水の観点で課題解決に向けて議論していく必要がある。特に防災・防犯については、「防災・防犯に係る検討会」で西区全体の課題と提言された事項に基づいて、具体的に検討していく必要がある。
- 除雪対策についても、安心・安全に関わる課題として、地域と市の協働による対応を検討するなど、改善手法を検討していく必要がある。

(3)第2部会に関すること

【成果】

- 居場所づくりや子育て支援に関する検討を続け、現地視察なども行い、「放課後児童クラブの整備充実についての要望書」を取りまとめた。
- 担当課題が多いことから、部会内で「高齢者小委員会」「教育小委員会」に分かれて審議したほか、具体的作業を担うワーキングチームを設けるなど、課題解決が進むよう運営方法の改善を図った。

【課題】

- 引き続き、子育て支援と高齢者支援の観点で、課題解決に向け検討していく必要がある。
- 小・中学校適正配置に関する市教育委員会の検討に対して、地域の意見が十分反映されるよう対応していく必要がある。
- これまで十分な審議ができなかった教育・文化・スポーツ面についても、今後、審議していく必要がある。

(4)第3部会に関すること

【成果】

- 消費者と生産者の交流を図るため、農業まつり（すいかまつり）での野菜（味はよいが形が悪いなど）販売とアンケート調査について、企画提案した。
- 交通渋滞改善に向けた交通シミュレーションを検討したほか、区バス収支率の改善に向けた議論を行い、収支率改善の見込みが立たない黒埼ル

ートの廃止はやむを得ないが、今後地域住民から要望があったときは、住民バスなどでの対応を検討するようとりまとめた。

- JR越後線内野駅以西の増便について、西蒲区と協働し、署名を呼びかけるよう西区自治協議会へ提案した。

【課題】

- 都市と農村の交流促進のため、消費者と生産者の交流を図りつつ、引き続き農業問題の解決に向けて取り組む必要がある。特に、耕作放棄地の増加、農業体験希望者の増加を受けて、耕作放棄地の具体的な活用策を検討していく必要がある。
- 西区内に眠る観光資源を発掘、活用法を検討していく必要がある。
- だれもが暮らしやすいまちづくりを進めるため、公共施設等の表示や、除雪対策、交通渋滞の解消など、交通面での課題解決を進めていく必要がある。

(5)プロジェクトチーム1に関すること

【成果】

- 飛砂対策・海岸松林の保全の問題を議論していくなかで、地域での森林ボランティア育成について検討した。市の森林ボランティア育成の取り組みもあり、まだ一部の地域ではあるが森林ボランティア組織の立ち上げに協力できた。
- 実際に森林ボランティアに携わっている方や、保安林を所管している県の担当課から話を聞く場とすることができた。
- 赤塚砂丘地の飛砂対策として、マサキの植栽に協力した。

【課題】

- 海岸沿いの飛砂対策のため、国道海側の植栽などの手法を引き続き検討する必要がある。また、保安林未整備地域の解消、既存保安林の保全に向け、引き続き関係機関等に働きかけるとともに、地域ごとに森林ボランティア組織の育成を進めるなど、行政、コミュニティ協議会（自治会）の守備範囲を決めた地域レベルでできる改善方法を引き続き検討していく必要がある。
- 赤塚地区において、地域・農協・行政が協働で取り組んでいる飛砂対策の継続と、マサキ定植を支援していく必要がある。

(6)プロジェクトチーム2に関すること

【成果】

- 西区自治協議会活性化のため、協議会の運営方法、自治協議会委員へのオリエンテーションの実施について検討し、次期協議会への提案という形でまとめることができた。
- 協議会傍聴者からの意見提出制度、委員同士の連絡先共有などを提案し実施することができた。
- 委員が自ら調査等ができるよう、必要な委員に、西区自治協議会で身分証明書や名刺を用意する制度を提案した。

【課題】

- 委員意識の向上や西区自治協議会のあり方、運営方法について、引き続き改善の手法を検討していく必要がある。
- 次期委員に対し、自治協議会の意義・役割・会議の運営方法等を理解してもらうため、オリエンテーションを実施する必要がある。
- 西区自治協議会を区民に知ってもらうため、PR手法を検討する必要がある。

(7)プロジェクトチーム3に関すること

【成果】

- 西区役所庁舎の整備について議論し、全区民へのアンケート調査とこれを踏まえた西区役所庁舎の整備に関する要望書を取りまとめた。
- 西区自治協議会とは別日程かつ夜間開催を積極的に行うことで、深い検討を行うことができた。

【課題】

- 西区役所庁舎の整備が進むなかで随時市から報告を受け、地域意見が反映されるよう助言や支援をしていく必要がある。
- コミュニティ協議会との協働を含めた公民館のあり方（ソフト面・ハード面）について、まちづくりセンターなどの新事業の実施状況を把握したうえで、検討していく必要がある。

意見聴取等結果等一覧

<平成21年度>

【意見聴取】

意見聴取時期：平成21年8月
件名：平成22年度特色ある区づくり事業について【必須意見聴取事項】
回答の概要：それまでの協議で議決してきた内容をもって、回答とした。
(平成21年10月)

意見聴取時期：平成21年9月
件名：区バス(黒埼ルート)について
回答の概要：区バス(黒埼ルート)の取り扱いについては、収支率改善の見込みが立たないため、市の原則どおり廃止はやむを得ないが、今後、地域住民から要望があったときは、住民バスなどでの対応を検討して欲しい。
(平成22年1月)

【要望書提出】

要望書提出時期：平成21年9月
件名：新潟厚生年金スポーツセンターに関する要望書
要望の概要：当該施設が今後も営業を継続できるよう、市長の尽力を要望した。

<平成22年度>

【意見聴取】

意見聴取時期：平成22年6月
件名：(仮)赤塚公園基本計画
回答の概要：公園へのアクセス、利用者側に立った整備コンセプトなどについて意見があった。
(平成22年6月)

意見聴取時期：平成22年9月
件名：部会・検討会開催に対する費用弁償について
回答の概要：区自治協議会会長会議からの意見聴取に対し、当協議会としては、①部会・検討会に対する費用弁償を支給すべき、②報酬を支給する必要はない、の2点で区自治協議会会長会議に報告することとした。
(平成22年9月)

意見聴取時期： 平成 22 年 11 月
件名： 西区区ビジョンまちづくり計画後期事業計画について【必須意見聴取事項】
回答の概要： それまでの協議で議決してきた内容をもって、回答とした。
(平成 23 年3月)

意見聴取時期： 平成 22 年 11 月
件名： みどりと森の運動公園園体育施設の指定管理について【必須意見聴取事項】
回答の概要： 原案どおりとした。
(平成 22 年 11 月)

【 要望書提出 】

要望書提出時期： 平成 22 年4月
件名： 西区役所庁舎の整備に関する要望書
要望の概要： 当協議会の「西区役所庁舎の整備に関する基本的な考え方」に配慮して、整備を進めるよう市長に要望した。

要望書提出時期： 平成 22 年 12 月
件名： JR越後線「内野～吉田」駅間の列車増便に向けた取組みに関する要望書
要望の概要： 新潟市中心部と西区、西蒲区の拠点を結ぶ鉄道運行サービス向上により、双方の魅力が一段と高まるよう、JR東日本に対して、JR越後線「内野～吉田」駅間の列車増便を市長から強く要請するよう要望した。

要望書提出時期： 平成 23 年3月
件名： 放課後児童クラブの整備充実についての要望書
要望の概要： 安心安全な子どもの居場所の確保、子どもの健全育成の観点から、放課後児童クラブ（ひまわりクラブ）の格差是正や環境の向上への努力を市長に要望した。

新潟厚生年金スポーツセンターに関する要望書

新潟厚生年金スポーツセンター（ウェルサンピア新潟）につきましては、本年8月12日より3回目の入札受付を開始いたしました。過去2回の入札では応札者が無く、今回も同様な状況の場合には施設の存続が危ぶまれます。

当該施設は、地元の学童、高齢者も含め、県内外から年間50万人を超える利用者があり、西区をはじめ周辺地域の市民100名以上を雇用しております。また、関係する地元業者は100社に上り、地域経済への貢献度からも、なくてはならない施設です。

以上のことから、当該施設が今後も営業を継続することができま
すよう、貴職に最大限のご尽力をいただきたく要望いたします。

平成21年9月30日

新潟市長 篠田 昭 様

西区自治協議会長 松原 幸夫



西区役所庁舎の整備に関する要望書

西区役所庁舎の整備は、我われ区民一人ひとりにとりましても身近で非常に関心の高いものであることから、当自治協議会では西区の大きな課題のひとつとして取り組むこととし、昨年6月から精力的に検討を重ねてまいりました。

その中では、区役所庁舎の現状と課題を分析し、その解決に向けた整備の方策を議論しました。また、これと併せ、区民の区役所庁舎の整備についての考え方の傾向を把握するため、地域コミュニティ協議会ごとの説明会や区民アンケートを実施したところです。

アンケートでは、2万世帯を超える回答が寄せられ、大きく分けて「現在地での整備」を選択した回答が半数近くに上りました。これらの区民の声を踏まえ、さらに様々な観点から検討を加えたうえで、自治協議会としての「西区役所庁舎の整備に関する基本的な考え方」を下記のとおりまとめました。

貴職におかれましては、当自治協議会の考え方にご配慮いただき区役所等の整備を進められますことをお願い申し上げます。

記

- 1 西区役所庁舎は、現在地での整備とする。
- 2 現在地での整備においては、分散している区役所の各組織を同一の建物に集中させること、駐車場は必要台数を確保すること、区役所はもちろん公民館や図書館においても十分な機能が果たせる施設規模とすることなど、現状での課題を解決する方策を講じることが必要である。

なお、身近な行政サービス機関として、新たな出張所の設置を求める区民の意見が相当数あることを付記します。

平成22年4月27日

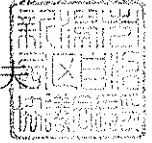
新潟市長 篠田 昭 様

西区自治協議会長 松原 幸夫

平成22年12月15日

新潟市長 篠田 昭 様

西区自治協議会長 松原 幸夫



西蒲区自治協議会長 如澤 寛



ＪＲ越後線「内野～吉田」駅間の列車増便に向けた取組みに関する要望書

西区、西蒲区にとって、ＪＲ越後線は地域の発展や日常生活において、また地域間の交流・連携に欠かすことのできない最も重要な公共交通であります。

沿線には、大学や各高等学校のほか、病院、行政機関等、さまざまな施設が連なり、燕・新潟両市近郊の通勤・通学の足として利用されているとともに、新潟市中心部への主たる交通手段となっています。

しかし、昼間の列車運行状況は、「新潟～内野」駅間が20分間隔なのに対し、「内野～吉田」駅間は概ね60分間隔となっており、白新線、信越本線に比べ、運行本数が少ない状況にあります。

市は、にいがた交通戦略プランの重点プロジェクトに「ＪＲ越後線の利便性と運行頻度向上に向けた取組み」を掲げ、積極的に取り組んでいることと存じますが、未だ、列車増便には至っていないのが現状です。

当自治協議会でも、暮らしやすい魅力あるまちづくりを着実に進めるうえで、この問題を重要事項のひとつと捉え、列車増便に向けた取組みを検討してまいりました。

その結果、市だけではなく、市民も一体となって活動することでより一層の効果が期待できると考え、地域住民等へ署名の取組みを呼び掛けたところ、別紙のとおり、多くの皆さまからご賛同をいただくことができました。

つきましては、この結果を民意の声と重く受け止めていただき、以下の事項について、格段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

記

新潟市中心部と西区、西蒲区の拠点を結ぶ鉄道運行サービス向上により、双方の魅力が一段と高まるよう、東日本旅客鉄道株式会社へＪＲ越後線「内野～吉田」駅間の列車の増便を強く要望していただきたい。

放課後児童クラブの整備充実についての要望書

放課後児童の健全育成を実現させるため、ひまわりクラブ（放課後児童クラブ）の整備・運営を行っていただき感謝申し上げます。行政のご努力により、新潟市は待機児童ゼロという状況を維持しています。

しかしながら、その現状を西区自治協議会においてひまわりクラブを視察・検討をした結果、残念ながら厚生労働省による放課後児童クラブガイドラインをクリアできていない部分が複数あることが判明いたしました（参考資料 1・2 参照）。このガイドラインは最低基準という位置付けではなく質の向上に資することを目的としているものですが、児童の安心安全な居場所の確保、健全育成の立場からは是非遵守していただきたい項目ばかりです。女性の社会進出も目覚ましく、少子化も進行する中で、0～2歳児の保育園利用数が急増しており（参考資料 3）、今後、放課後児童クラブの役割は益々重要になってくると考えられます。

つきましては、地域で子育てを応援すべく西区自治協議会として、下記のような要望をまとめましたのでご配慮いただき、放課後児童クラブをはじめとする子どもたちの充実した居場所の整備に向けて更なるご努力をいただけるようお願い申し上げます。

記

1. 待機児童ゼロを維持しつつ、放課後児童クラブガイドラインの規模に示されているような1クラブ当たりおおむね40人程度、最大70人までとなるようお願いいたします。
2. すべてのクラブで児童1人当たりおおむね1.65m²以上の面積が確保されておりますが、実際の現場はたいへん手狭で、使い勝手が悪く、子どもが体調の悪い時などに休息できる静養スペースが確保されていない施設が大半を占めておりました。つきましてはガイドラインに示されている面積に加え、保健衛生面も考慮した静養スペースの増設をお願いいたします。
3. 児童・指導員がいる場所の冷暖房やトイレ等設備に格差が見受けられましたので改善をお願いいたします。
4. 子どもの生活と遊びの場を広げるために、ガイドラインにも示されているように学校との連携を図り、放課後子ども教室（ふれあいスクール等）を推進していけるような環境作りをお願いいたします。

平成 23 年 3 月 24 日

新潟市長 篠田 昭 様

西区自治協議会長 松原 幸夫

